

## 宇都宮市立平石北小学校第6学年児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

・起床や就寝の時刻が決まっているか、の質問についてはほとんどの児童が肯定的回答をしており、県の平均と比較して10ポイント前後高く、規則正しい生活をしている児童が多いことが分かる。

・普段のテレビ等の視聴・ゲーム等の時間・携帯電話の使用時間においては、本校内においても個人差が大きいが、長時間使用している児童も見られる。

・家庭で宿題や復習に取り組むことについては90%以上が肯定的回答をしているが、予習については50%以上が否定的回答をしており、復習は身に付いている児童が多いが、予習はまだ身に付いていない児童が多い。どちらも県の平均とほぼ同じである。

・地域や社会の問題に関心をもっている児童は約90%で、県の平均と比較して20ポイント以上高いが、自分が何をすべきかまで考えているかという質問になると、県の平均よりは10ポイント程度高いが、関心の高さと比較すると肯定的回答が30ポイント近く少なくなっている。

・学習に対して意欲的に考える児童が多いので、今後も意欲を高めるような授業や教材の工夫を行っていく。

・家庭での過ごし方について、学年便りや懇談会で保護者にも啓発し、連携を図っていく。

・地域や社会の問題を自分のこととして考えられるよう、自分の考えをもち、表現する場を増やしていけるようにする。